令和８年度　第２回公民館運営審議会
議事録（議事要旨）

１　開催日時　　令和８年９月 11 日（金）　午後２時開始

２　開催場所　　高洲公民館　研修室

３　出 席 者

［委　　員］

坂本委員（副委員長)、宮崎委員、伊能委員、山澤委員、毎田委員、横川委員、落合委員
林委員、田中委員、梅本委員　（欠席者：２名）

［事 務 局］

高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、高洲公民館職員２名

４　傍 聴 者　　あり

５　議　　事

（１）報告事項

令和８年度公民館主催事業（４月～６月）実施状況

（２）審議事項

令和８年度公民館主催事業（10 月～12 月）開催計画

（３）そ の 他

６　会議経過

開　　会

（１）報告事項

令和８年度公民館主催事業（４月～６月）実施状況について、各委員からの意見や質問の概要は以下のとおり。

委　　員　美浜公民館の「にこにこ運動広場」について、「４．障がいのある人との共生に関する取り組み」ということだが、対象者が小中学生ということで、どういう形で障がい者と関わったのか。

事 務 局　対象者が障がいを持つ小学生。

委　　員　講座ではないが、この夏休みに 19 の自治会集会所で小中学生を対象に学習する場の提供を行った。公民館では子どもたちの学習の場の状況はどうか。

事 務 局　常設の学習コーナーの他に夏休み期間は、９時から 16 時 30 分まで空いている会議室を学習室として開放した。利用状況としては、常設の学習コーナーもあるため、満員になることはなかった。

委　　員　高洲公民館が５月に予定していた「クライミング体験会」は実施状況に載っていないがどうであったか。

事 務 局　募集したが、参加者が集まらなかったため中止とした。今回の審議事項に出しているが、12 月に行う。

委　　員　堀江公民館の「江戸入門講座」の参加人数が平日開催にも関わらず、96 人と多いが。

事 務 局　２回開催しての人数。応募者 48 人全員当選で、ほとんどが 65 歳以上。今回のテーマが「東海道五十三次」で興味を引いたのではないかと考える。

委　　員　日の出公民館の「つなぐテラス with こんぺいとうサロン」はどういうしかけで参加者が多く集まったのか。

事 務 局　いろいろな所で宣伝した効果である。共催の社会福祉協議会と連携して知り合いなどに声掛けをしてもらった。また、団体の「こんぺいとう」の口コミ効果もあった。

委　　員　具体的な交流の雰囲気はどうか。

事 務 局　高齢者の方は調理室でお茶を飲んで、親子連れは隣の保育室でゆっくり過ごした後に、調理室に親御さんとお子さんも集まってお茶をする。ゆっくり過ごせるので、結果的に参加者が定着したのだと思う。

委　　員　堀江公民館の「県民の日人形劇」の当日参加はどうか。

事 務 局　広い会場で、当日参加でも入れる場所があったので、公民館に来ていた人に声掛けして呼び込んだ。他の講座も、会場の広さに応じて臨機応変にやっている。

委　　員　堀江公民館の「布の絵本ボランティア体験会」は、２回講座で２人参加ということか。

事 務 局　１回につき２人で、４人に訂正する。

（２）審議事項

令和８年度公民館主催事業（10 月～12 月）開催計画について、事務局から資料に基づいて説明をした後、各委員から出された意見や質問の概要は以下のとおり。

委　　員　中央公民館の「のびのび広場」は、開催趣旨にある「障がいのある人とない人との交流」における「ない人」とは、具体的にどのような方を指し、どのように関わっているのか。

事 務 局　障がいのない人は、普段から障がい者と関わりのあるボランティアスタッフを指している。

委　　員　趣旨の「ない人」というならば、普段接していない人が接する機会とすべきではないか。

事 務 局　支援する人数体制などを今年度開催してみて把握し、次年度以降参考にしていきたい。

委　　員　堀江公民館の「おそとで楽しむ絵本の時間」はどういう内容か。

事 務 局　屋外の駐車場にブルーシートと座布団を敷いて青空の下で読み聞かせを行う。

委　　員　中央公民館の「心のサポーター養成研修」は、オンラインで行うとサポーターも増えると思うが。

事 務 局　今のところオンラインでは考えていない。グループワークを対面で行いたいと考えているが、講師とも相談したい。

委　　員　高洲公民館の「クライミング体験講習会」はピンポイントだと思うが、平日はどうか。せっかく施設があるので入口を増やさないと。

事 務 局　今年度すでに平日で募集をしたが集まらなかったため土曜日開催にした。来年度は体験会だけでなく講習会も実施していく。いろいろな開催日を検討し

ていきたい。

委　　員　美浜公民館の「ぎんざにふくかぜ」のフィールドワーク２回は職員も同行か。

事 務 局　そのとおり。現地集合、現地解散。

委　　員　開催計画をみると各館の講座はここ数年減ってきている。委員をしていた数年前の同じ時期に各館 10 以上開催していた。どのように考えているのか。

事 務 局　年々減ってきている。年齢層の変化もある。募集しても集まらない面もある。各館の特性を生かしたい。

委　　員　高齢者、小さい子、障がい者の講座はあるが、年齢層で間が抜けている。サークル主催や市民活動団体主催よりも公民館と共催していると市民は申込みするのに安心するようだ。ぜひ公民館には頑張って欲しい。

委　　員　今、市民が一番興味のあることを開催してはどうか。例えば、自転車のルールが厳しくなったのでその講座。また、NISA 講座は公民館でやると安心感がある。スポーツをやっているお子さんが多いので、怪我をしないためのケアなど。検討してもらえるとありがたい。

委　　員　高洲中学校地区フェスティバルで公民館の参加はどうなったか。

事 務 局　２団体作品展示で参加する。

委　　員　中央公民館の「消費者教育講座自然災害とお金の話」で、台風などの被害があるため、ハザードマップなどを元町地区だけでなく全地域でもやって欲しい。うまくいったら他の館でも巡回できるのか。

事 務 局　災害の講座は危機管理課が講師を派遣して講座を行う。

事 務 局　中央公民館では行政ニーズがあるものや地域と連携する講座を今回計画した。事業数は減っているが、そういうところもみていただきたい。

（３）そ の 他

次回の第３回公民館運営審議会は、令和８年 12 月 11 日（金）に高洲公民館で実施することを確認し閉会。

（閉会：午後３時）